

数学部会誌 $\alpha - \omega$ 原稿執筆要項

千葉県高等学校教育研究会数学部会編集委員会

部会誌は組版処理ソフトウェア L^AT_EX により編集しております。そのため電子データ等による原稿を提出いただくことで編集作業が容易となりますが、手書きによる原稿も受け付けております。なお、編集した原稿は Web ページに公開させていただいておりますので、ご了承下さい。

1. 原稿の書式

B5 縦置き 横書き
 1 段組または 2 段組
 上余白 20mm, 下余白 25mm, 左余白 20mm, 右余白 20mm
 文字の大きさ 10 ポイント (本文)
 [1 段組の場合] 42 文字 40 行
 [2 段組の場合] 20 文字 40 行 中央 2 文字空ける

2. タイトルなどの表記

タイトル, 所属, 氏名を明記して下さい。(サブタイトルがあればサブタイトルも明記)
 所属は勤務校名, 必要があれば研究会名等もつけて下さい。
 (例) タイトル
 (サブタイトル)
 ○○ 高等学校 千葉 一郎

3. 見出しの書き方

章 1.
 節 (1)
 項 ア
 目 (ア)
 a
 (a) の順とする。

4. 原稿の表記について

- (1) 簡潔でわかりやすい表現として下さい。
- (2) 句読点は「,」「,」「。」とします。用語は原則として, 教科書に準じたものをお使い下さい。
- (3) 本文は「です・ます調」または「である調」で統一して下さい。
- (4) その他, 昨年度までの部会誌を参考にして下さい。

5. 参考文献の表記について

- (1) 雑誌
 著者名 (訳者名), 「表題」, 雑誌名, 巻, 号, pp. をつけて始め - 終りのページ, 月 (英語), 年.
 (例) 山下純一, 「ケンブリッジの微笑み」, 数学セミナー, 第 36 巻, 第 4 号, pp.2-5, April, 1997.
- (2) 著書, 編書
 (編) 著者名, 書名, 発行所, 発行年.
 (例) 加藤和也, 解決! フェルマーの最終定理, 日本評論社, 1995.
- (3) 著書の一部を引用する場合
 著者名, 書名, 編者名, 章番号または pp. をつけて始め - 終りのページ. 発行所, 発行年.
 (例) 乙部厳己 + 江口庄英, pL^AT_EX 2_εfor WINDOWS Another Manual, pp.206-209, ソフトバンク, 1996.

6. 図・表について

- (1) 図・表はできるだけ自分で作成したものを使って下さい。
- (2) 図・表を他の著作物から引用する場合は著作権に留意して下さい。
- (3) 図・表には, 番号及びキャプションをつけて下さい。
- (4) 図・表の番号は図 1, 図 2..., 表 1, 表 2... のように通し番号として下さい。
- (5) 図は別紙に書いて番号を記入し, 原稿に同封して送って下さい。デジタルデータで提出する場合は, ファイル名等で区別できるように送って下さい。

7. 電子データ等による入稿の注意事項

(1) 電子データの入稿方法

- ア データのバックアップは必ずお取り下さい。入稿していただいたデータは返却いたしません。また、記録メディアで入稿の場合にはタイトル、所属校名、著者名を書いて下さい。
- イ データを圧縮するときは zip 形式等をお使い下さい。
- ウ 電子メールで入稿する場合は、添付ファイルで送付してください。また、その際はデータ容量に注意して下さい。

(2) 電子データの執筆上の注意事項

ア 共通の注意事項

- (ア) 英数字、括弧は半角を使用して下さい。半角カタカナは使用しないで下さい。
- (イ) 機種依存文字、フォント依存文字、外字は使用しないで下さい。
- (ウ) 段落の始めの行頭は全角で 1 字分下げて下さい。
- (エ) 各行末に不要な改行 (Return, Enter) を入れないで下さい。段落の終わりにのみ改行を入れて下さい。
- (オ) 字下げ (インデント) を行う項目がある場合は、インデントの機能 (Tab など) をお使い下さい。
- (カ) 図、写真等のデータがある場合は、EPS(Encapsulated PostScript) 形式または BMP 形式、JPEG 形式、PNG 形式で提出して下さい。文書に挿入した画像については、できるだけ元の画像を別に添付して下さい。また、その際に縮小や不必要な圧縮は行わないで下さい。

イ ワードプロソフトを利用する場合の注意事項

- (ア) 特殊なフォントはできる限り使用しないで下さい。
- (イ) 数式は新規に組版し直します。あらかじめご了承ください。

ウ $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ による組版での注意事項

- (ア) 「日本語 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X} 2_{\epsilon}$ 」 または 「 $\text{pL}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X} 2_{\epsilon}$ または $\text{upL}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X} 2_{\epsilon}$ 」 をお使い下さい。
- (イ) b5paper, b5j, 10pt を基本とします。
- (ウ) 特殊なスタイルやパッケージを使用する場合は、明記して下さい。また、自作のスタイルファイルやパッケージを使用する場合は、原稿と一緒に送付して下さい。

8. 原稿の著作権

本誌に掲載された原稿の著作権（主に複製権および公衆送信権、二次著作物の利用に関する原著者の権利）は数学部会に譲渡されます。

また、他誌や Web 等にすでに公表してあるものや、他誌への重複投稿はご遠慮下さい。